

熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

新合同庁舎整備計画

○目的：副都心である熊本駅周辺地区への都市機能の集積

○敷地面積：2.5ha

○整備スケジュール

平成16年度～：調査、設計等

平成19年度：A棟(28,000㎡)

工事着工予定

新幹線開業時にA棟竣工を目指す

(6官署 職員約1,100名)

その後B棟工事着工予定

(8官署 職員約700名)



【配置図(案)】



【A棟イメージ】

熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

熊本駅新幹線駅舎工事

<これまでの状況>

平成16年度：県市駅舎デザインのコンセプト提示

平成18年度：新駅舎に望まれるデザイン要件の提示

<新幹線開業時までのスケジュール（予定）>

新幹線駅舎（熊本駅西側）

平成19年5月：駅舎デザインの発表

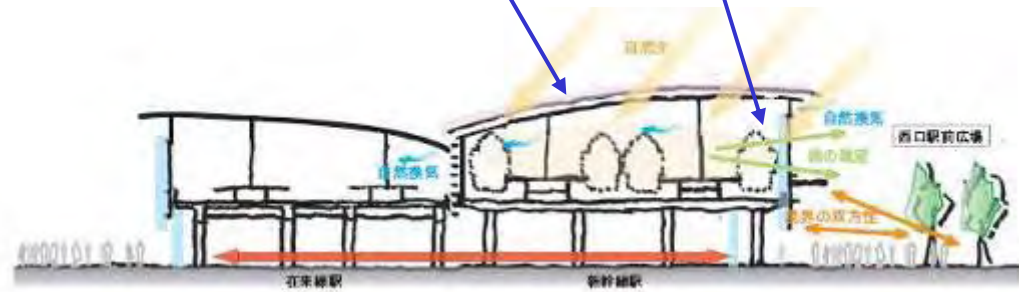
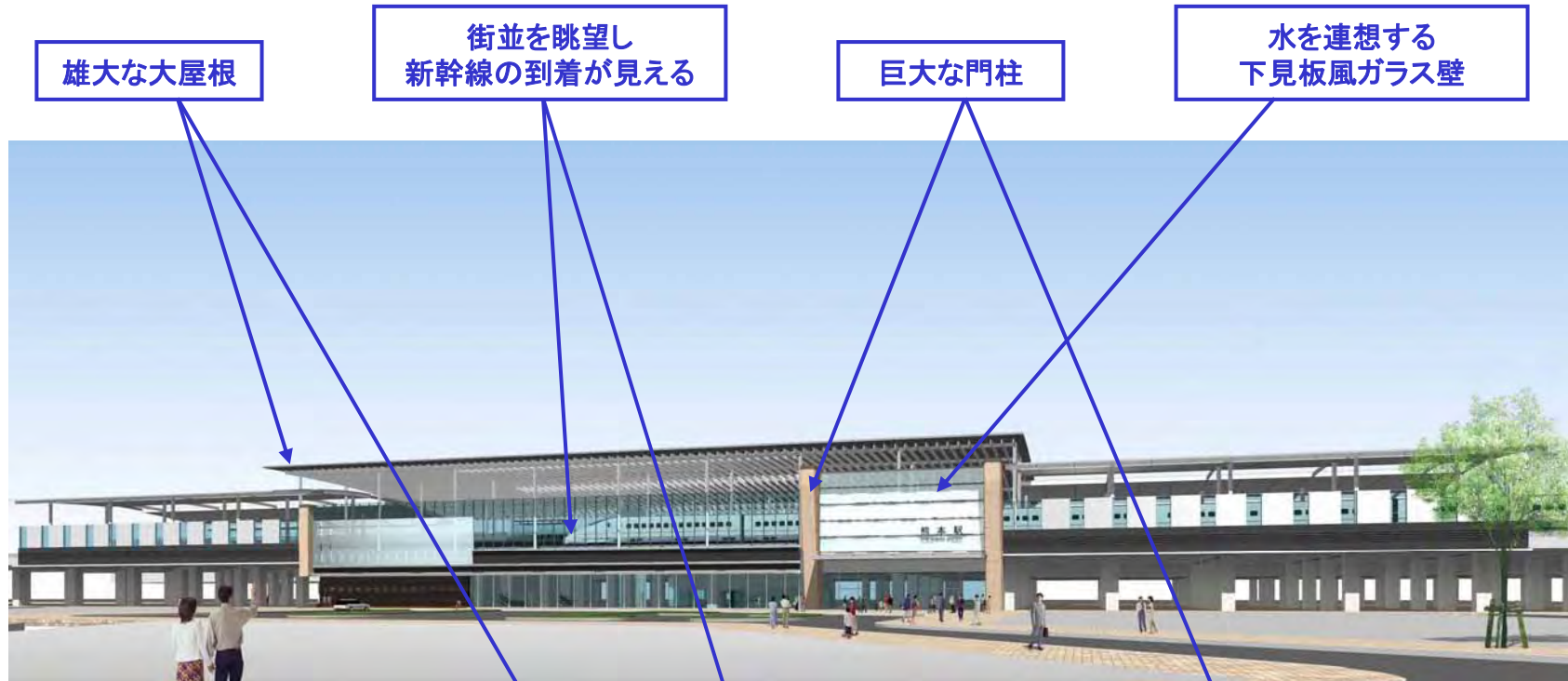
今年度：実施設計

平成20年度：工事着手予定

平成22年度：駅舎工事の完成予定



雄大な大屋根と堂々とした門構え





悠久なる自然と風格が映える駅

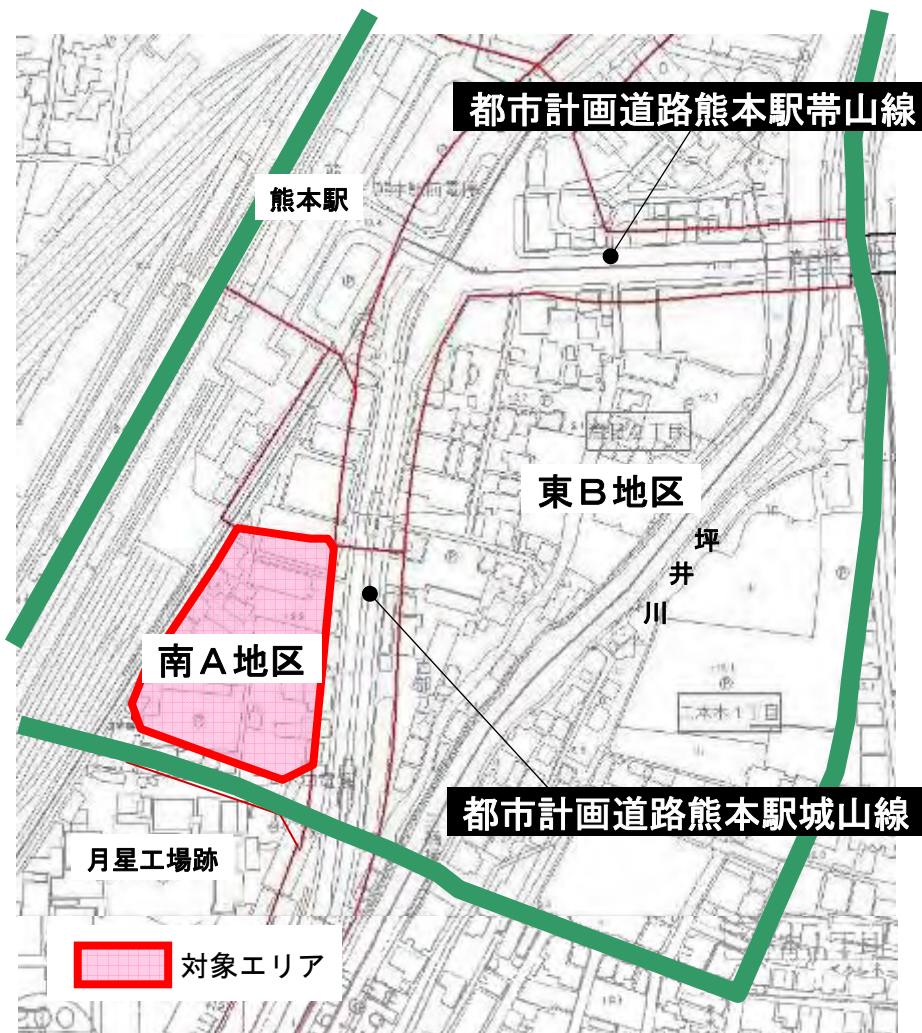
熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

市街地整備計画の策定



熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

【先行して検討しているエリア(熊本駅前南A地区)】



具体的なルール項目(案)

◆ 建築物の用途の制限

→住宅、工場・倉庫、風俗施設等の立地制限

◆ 容積率の最高限度・最低限度の設定

→容積率の最高限度 500%⇒600%
容積率の最低限度 200%の設定

◆ 建ぺい率の最高限度の設定

◆ 建築面積の最低限度の設定

→建築面積の最低限度 200m²

◆ 壁面の位置の制限

→熊本駅城山線からセットバック 2m

◆ 壁面後退区域の工作物の制限

→セットバック空間での門・塀等の制限

◆ 形態・意匠の制限(建物・広告物)

→・街路樹の緑と調和した建物の外壁
・原色をさけ、落ち着いた色調
・屋上工作物は直接目に触れないよう配慮

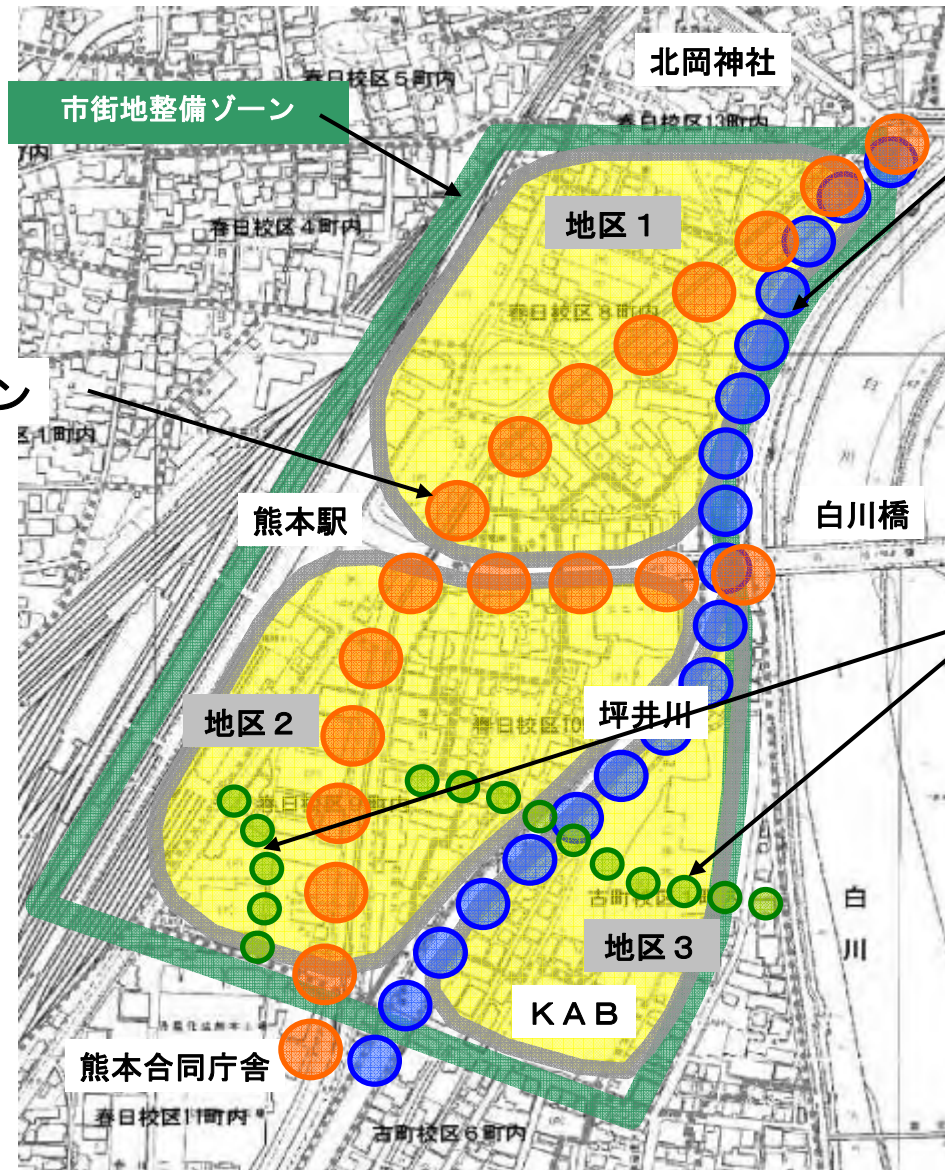
熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

【今後の進め方】

①まちなみ形成ゾーン

- 熊本駅帯山線・熊本駅城山線沿道
- 地区整備計画案 全体説明
- 個別地権者調整

熊本駅北部線沿道



②水辺の小径

- 地区整備方針案 全体説明

- 個別地権者調整
- 地区整備計画案策定

③まちのみち

- 南A地区内の地区施設
- 地区整備方針案 全体説明
- 個別地権者調整

- その他の地区施設
- 個別地権者調整
- 地区整備計画案策定